

# 6年

# 平均とその利用

6年( )組( )

1

次の問題に答えましょう。

( )にあてはまることばをかきましょう。

いくつかの数量を、同じ大きさになるようにならしたものを、それらの数量の( )といえます。

平均 = ( ) ÷ ( ) で求められます。

5個のりんごの重さをはかったら、次のようになりました。

425g, 400g, 390g, 450g, 435g

りんごの重さは、1個平均何gでしょう。

式

答え

と同じようなりんごが50個あるとき、全部で重さはおよそ何kgと考えられるでしょう。

式

答え

2

子ども会で、A、B 2つのグループに分かれて栗拾いをしました。

それぞれのグループの人数と拾えた栗の1人平均の個数は、右の表のようでした。

子ども会全体では、1人平均何個拾えたことになるでしょう。

栗拾い

	人数	1人平均の個数
A	16人	15個
B	14人	12個

式

答え

3

けい子さんの歩はばは、平均約 0.59mです。けい子さんが公園を一周したら、95歩ありました。公園一周の長さは約何mあるでしょう。上から2けたの概数で求めましょう。

式

答え

# 6年

# 平均とその利用

6年( )組( )

1 次の問題に答えましょう。

【知識・理解】「平均の意味と計算の仕方について理解できる」

B : , ができる。

A : ~ の問題が間違わずにできる。

( )にあてはまることばをかきましょう。

いくつかの数量を, 同じ大きさになるようにならしたものを, それらの数量の(平均)といえます。

平均 = (合計) ÷ (個数) で求められます。

5個のりんごの重さをはかったら, 次のようになりました。

425g, 400g, 390g, 450g, 435g

りんごの重さは, 1個平均何gでしょう。

式  $(425 + 400 + 390 + 450 + 435) \div 5 = 420$

答え 420g

と同じようなりんごが50個あるとき, 全部で重さはおよそ何kgと考えられるでしょう。

式  $420 \times 50 = 21000, 21000g = 21kg$

答え 21kg

2 子ども会で, A, B 2つのグループに分かれて

栗拾いをしました。

それぞれのグループの人数と拾えた栗の1人平均の個数は, 右の表のようでした。

子ども会全体では, 1人平均何個拾えたことになるでしょう。

栗拾い

	人数	1人平均の個数
A	16人	15個
B	14人	12個

【考え方】「具体的な場面での平均値の活用の仕方について考えることができる」

B : 計算ミスはあっても式表現ができています。

A : 問題が間違わずにできる。

式  $15 \times 16 + 12 \times 14 = 408$   
 $408 \div (16 + 14) = 13.6$

答え 13.6個

3 けい子さんの歩幅は, 平均約 0.59mです。けい子さんが公園を一周したら, 95歩ありました。公園一周の長さは約何mあるでしょう。上から2けたの概数で求めましょう。

【表現・処理】「歩幅などの測定した値を平均を用いて処理することによって, 長さなどの概測ができる。」

B : 計算ミスはあっても式表現ができています。

A : 問題が間違わずにできる。

式  $0.59 \times 95 = 56.05$

答え 約56m